



園長便り



2021年9月30日発行

セブンスデー・アドベンチスト石川教会附属 石川三育保育園

朝晩少しづつ涼しくなってきた、秋を感じる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

先日、石川三育保育園では、秋の運動会を開催いたしました。今回の運動会はコロナウィルスの影響により、無観客での開催となりました。初めての試みで、どうなるかと不安でしたが、なんとか無事に終えることができました。ライブ配信を通して応援して下さったご家族の皆様ありがとうございました。

さて、秋の季節です。実りの秋、食欲の秋、読書の秋、運動の秋、みなさまにとっての秋はどのような秋でしょうか。また、秋は「行楽の秋」とも言われます。気候が落ち着く中、たくさんの楽しい経験を重ねられる時期です。しかし、今年の秋もコロナウィルスの影響があり、これまでのような形の行楽は難しくなっています。ただ、そのような中でも楽しい体験ができるようにと、社会全体で様々な工夫がなされています。

石川三育保育園においても、感染予防に務め、保育内容に工夫を凝らし、子どもたちが豊かな体験を重ねられるように努めています。子どもたちは、コロナウィルスの影響の中にあっても、元気いっぱい体を動かし、日々成長しています。先日の運動会では、子どもたちの楽しむ姿や確かな成長を見ることができたかと思えます。これからも様々な工夫をしつつ、保育の働きや楽しい行事を続けていきたいと思えます。今後ともよろしく願いいたします。

「いかに楽しいことでしょうか、主に感謝をささげることは。」詩篇92：2

子どもたちは、どのような状況下にあっても、目の前の時間を精一杯楽しんでいきます。受けている恵みを素直に喜んでいきます。「楽しい」という感情は、「関わり」から生まれます。「関わり」は共に生きる隣人がいて、生まれます。この出会いは、神様から与えられた恵みです。コロナウィルスが猛威を振るい、人との関わりを減らすようにとされている世の中ですが、私たちは人との関わりが無ければ生きていけません。お友達や先生、家族との関わりは私たちの人生を楽しく豊かにし、成長させてくださいます。そのために神様は私たちに必要な人と関わりを与えてくださっているのです。この行楽の秋に、改めて神様が与えてくださっている私たちに必要な人と関わり、楽しい時間をすごしたいものです。そして、どのような時でも多くの恵みと導きをくださる神様に感謝したいものです。

石川三育保育園 園長 松下晃大

